

(議長)

次に萩原議員の発言を許可いたします。

萩原議員。

「萩原議員」

それでは早速質問に入ります。

水産業振興増養殖施設についてでございます。

昨年の所信表明で簡易な種内生産や畜養機能を備えた増養殖施設のあり方について検討を進めるとあり、今年度も引き続き検討していくとのことですが、この1年間どの様な議論がなされたのか。

また、今年度若手漁業者を育てる漁業の先進地視察の場所、魚種または効果等を伺います。

(議長)

はい、町長。

「町長」

萩原議員の水産業振興増養殖施設についてのご質問にお答えいたします。

まず、若手漁業者の先進地視察についてご答弁申し上げます。

ひやま漁協江差支所青年部と増養殖対象魚種や視察時期について打合せを重ねてまいりましたが、江差町における有効な対象魚種等が定まらず、ある程度事前学習をしたうえで、改めて視察先などを検討していくことといたしました。

今年度においては先進地視察に変え、今後、養殖事例等に詳しい専門家を講師として招いて勉強会を開催することで調整をして参りましたが、新型コロナウイルスの影響により、先般講師を依頼していた組織から、当面の間、講演会等への講師派遣は見送らせていただきたい旨の連絡が入ったことから、大変残念ではありますが、年度内の勉強会開催を断念したいと考えております。

今後も、若手漁業者の知識を付ける機会を設け、具体的な事例や手法を学んでもらうことで、若手漁業者が将来、自分たちで継続できる増養殖を見出すためのものとしていきたいと考え、新年度においても栽培漁業推進事業として、先進地視察を含めた予算を計上しております。

引き続き、若手漁業者の集まりの中で、増養殖施設の在り方について協議を行っていきたいと考えておりますのでご理解をお願いします。

また、1年間の議論についてですが、若手漁業者では議論を行うまで至っていないことから、ひやま漁協江差支所理事、総代協議会とも協議を行っております。

漁業者から、昔から外海でも色々な養殖を実施してきたが成功していない。増養殖する

なら陸上施設ではないかという経験を踏まえた意見をいただいております。

合わせて、養殖よりも増殖施設を求めるが、我々では知識不足であり、専門的な知識を持った方に助言をもらいたいなどの意見もいただいております。

漁業者も施設建設には費用がかかること。検討に時間を要することは理解しており、町としても漁業者や専門家の意見をいただく機会を今後も設けながら慎重に判断していきたいと考えておりますので、ご理解願いたいと思います。

(議長)

はい、いいですか。

2問目。

「萩原議員」

じゃあ次の質問にまいります。

一般社団法人北海道江差観光みらい機構についてでございます。

2年目を迎え、第三種旅行業を活かし、町内事業者と観光客との橋渡しを担うワンストップ窓口の確立とありますが、今後どのようなスケジュールで確立を目指すのか。

また、確立した場合、どのくらいの収益を想定してなのか伺いたします。

(議長)

町長。

「町長」

萩原議員の2問目のご質問、北海道江差観光みらい機構についてのご質問にお答えいたします。

ワンストップ窓口は、観光客と町内事業者等の橋渡しの役割を担うことで、何よりも観光客の利便性の向上につながります。

一方で、江差町や体験観光プレイヤーとしても大きなメリットが生まれます。

一つの問い合わせをきっかけに、町に広がる観光資源を伝えしながら、江差を楽しむ時間を増やしていただくことで、宿泊や食事、軽食などで町内経済へ波及させていくことにつながります。プレイヤーにとっては情報の発信、受付、調整、体験料金の精算をみらい機構が行うことで、日常業務に集中しながらも、体験観光で江差観光の一翼を担えるといったメリットがあります。

ご質問のスケジュールですが、基本的には国の地方創生推進交付金を活用しながら3年で形作ることとしています。

初年度の令和2年度は、先ず、事業者の皆様にワンストップ窓口を実施するみらい機構側の意図、あるいは仕組みなどの案について、サービスを提供している事業者、個人様へ

提示しながら意見要望をお伺いし、この町に適した制度構築を目指してまいります。

確立した場合の収益についてもご質問いただいております。

令和元年度、日本遺産事業により、江差の観光ポータルサイトの英語版を完成させましたが、こちらでは既に、着物でいにしえ街道を散策するメニューにおいて、海外の方々からお申込みをいただいた場合、仲介手数料をいただくこととしています。

今後においても、こういった形で収益を上げる努力は欠かせないものと考えております。

なお、みらい機構における収益確保の観点から申し上げますと、今後、第三種旅行業を活かしたツアー造成やふらっと江差の販売力向上を推し進めてまいります。機構設立は江差を知りたい方々にタイムリーな情報をしっかりと発信するとともに、住民の皆さんを巻き込みながら、地域が提供する観光サービスの質を高めることで、観光客の集客拡大を図りながら地域住民が観光により少しでも経済活動につなげることができることを目的としておりますので、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

(議長)

いいですか。

萩原議員の一般質問を終わります。